豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語ⅡB

科目基礎情報

科目番号	02221	科目区分	一般 / 必履修，選択必修（国）
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気・電子システム工学科	対象学年	2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	『精選現代文B』（三角洋一他著　東京書籍刊）／『国語総合　改訂版』（井島正博他著　筑摩書房刊）、『パスワード級別漢字』（浜島書店刊）、『常用国語便覧』（加藤道理他編著　浜島書店刊）、辞典等		
担当教員	玉田 沙織,江口 啓子		

到達目標

(ア)常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。
(イ)文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を表明できる。
(ウ)論理的な文章の構成や展開を的確に捉え、キーワード・キーセンテンスに着目して要約できる。
(エ)論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて、自分の意見を表明できる。
(オ)課題に応じ、他者の立場を尊重しつつ根拠に基づく議論を行い、自分の考えや集団としての思いを整理できる。
(カ)実用的な文章（はがきなど）を相手や目的に応じた体裁や語句をもちいて作成できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできない。
評価項目(イ)	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解をしたうえで、自分の意見を表明できる。	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解ができる。	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解ができない。
評価項目(ウ)	実用的な文章（はがきなど）を相手や目的に応じた体裁や語句をもちいて作成できる。	実用的な文章（はがきなど）の基本的な作成方法を理解できる。	実用的な文章（はがきなど）の基本的な作成方法を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

概要	現代文と古典を取り扱う。また、常用漢字の読み書きなどの言語運用能力を高める。
授業の進め方・方法	現代文では小説・評論文を取り上げ、読解力、鑑賞力を養成するとともに、自分を含めた人間存在に対する理解を深め、社会一般に対する判断力、批判力を身につける。古典は日本あるいは中国の前近代の代表的な作品などを取り上げ、当時の人々の物の見方・考え方などを学ぶ。常用漢字については昨年度使用したテキストを継続して書き取りの演習を行う。
注意点	前学期に引き続き、漢字書き取りの演習を行う。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス（到達目標の提示と注意点の確認）	到達目標と注意点を理解できる。
		2週	文学的な文章の読解 1（物語構造の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の物語構造を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		3週	文学的な文章の読解 2（場面や登場人物設定の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の場面や登場人物設定を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		4週	文学的な文章の読解 3（効果的な表現技法の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の効果的な表現技法を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		5週	文学的な文章の読解 4（登場人物の心理描写の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の登場人物の心理を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		6週	文学的な文章の読解 5（主題の考察と意見文の作成）	文学的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。
		7週	論理的な文章の読解 1（語句の読み・意味の確認　文章構成の把握）・常用漢字の学習	論理的な文章の基礎知識と構成を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		8週	論理的な文章の読解 2（キーワード・キーセンテンスの把握　各段落の要旨）・常用漢字の学習	論理的な文章の各段落の要旨を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
	4thQ	9週	論理的な文章の読解 3（各段落の要旨の把握・要約）・常用漢字の学習	論理的な文章の各段落の要旨を把握し、要約できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		10週	論理的な文章の読解 4（主題の考察・意見文の作成）	論理的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。
		11週	はがきの書き方（形式/内容/注意点）・常用漢字の学習	適切な敬意表現を用い、形式に則ってはがきを書くことができる。
		12週	前近代の文章の読解 1（時代・文化背景の理解　語句の理解）・常用漢字の学習	日本あるいは中国の前近代の文章の基礎知識を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		13週	前近代の文章の読解 2（主題の把握）・常用漢字の学習	日本あるいは中国の前近代の文章の主題を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		14週	前近代の文章の読解 3（鑑賞）	日本あるいは中国の前近代の文章を鑑賞できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		15週	まとめ（学習内容・学習成果の振り返り）	学習内容・学習成果を振り返り、整理できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	後7,後8,後9

				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	後10
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後12,後13,後14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後2,後7
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	後2,後7
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	後11
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後6,後10
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後6,後10
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後6,後10
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後6,後10

評価割合

	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	30	45	25	100
基礎的能力	30	45	25	100